

1 つぎの おはなしを よんで もんだいに こたえましょう。

世界には、「北極（ほっきょく）」という、とてもさむい場所があります。

北極は、海の上に大きなこおりがういていて、そのまわりも雪と氷におおわれています。空気も水もとてもつめたく、人がくらすにはきびしい場所です。

北極には、ふしぎな季節があります。冬になると、何日も太陽が出てこない「よるだけの季節」がつづきます。とても長いよるのようです。

なつになると、こんどは「ひるだけの季節」がやってきて、1日中ずっと明るいままになります。夜にならないので、ふとんに入る時間をわすれてしまいそうです。

そんな北極にも、いきものたちはたくましく生きています。たとえば、しろくま（ホッキョクグマ）は、雪やこおりの上でもすべらずに歩ける足と、ふかふかの毛をもっています。さらに、体の中にはあついあぶらのそうがあって、体のあたをかさをにがしません。

でも、北極で生きるのはかんたんではありません。さむさだけでなく、たべものも少ないのです。しろくまは、とおくまで歩いてえものをさがしたり、じっとまってアザラシをつかまえたりします。しろくまのほかにも、キツネやトナカイ、アザラシなど、それぞれのやり方でくらしている動物がいます。

北極はさむくてきびしいけれど、そこには生きるために工夫するどうぶつたちの知恵と力強さがあるのです。

(1) 文中の に入る言葉を次の中から選び番号をまるでかこみなさい。

- ① このように
- ② また
- ③ そして
- ④ ところが

(2) 北極の夏は「ひるだけの季節」がつづきますが、なぜふとんに入る時間をわすれてしまいそうだと書かれているのでしょうか。もっともよい理由を1つえらんで番号をまるでかこみましょう。

- ① 太陽がかくれて見えないから
- ② 1日中明るくて、夜のように見えないから
- ③ 北極の人は寝る時間がきまっていないから

(3) しろくまは、えものを見つけるのに長い時間がかかることもあります。しろくまが「じっとまってアザラシをつかまえる」やり方をしている理由として、もっとも正しいものをえらびましょう。

- ① 体が大きいので、すばやく動けないから
- ② たくさんえものがあるから、すぐに見つけるため
- ③ たべものが少ないので、チャンスにがさないため



1 つぎの おはなしを よんで もんだいに こたえましょう。

世界には、「北極（ほっきょく）」という、とてもさむい場所があります。

北極は、海の上に大きなこおりがういていて、そのまわりも雪と氷におおわれています。空気も水もとてもつめたく、人がくらすにはきびしい場所です。

北極には、ふしぎな季節があります。冬になると、何日も太陽が出てこない「よるだけの季節」がつづきます。とても長いよるのようです。

なつになると、こんどは「ひるだけの季節」がやってきて、1日中ずっと明るいままになります。夜にならないので、ふとんに入る時間をわすれてしまいそうです。

そんな北極にも、いきものたちはたくましく生きています。たとえば、しろくま（ホッキョクグマ）は、雪やこおりの上でもすべらずに歩ける足と、ふかふかの毛をもっています。さらに、体の中にはあついあぶらのそうがあって、体のあたにかさをにがしません。

でも、北極で生きるのはかんたんではありません。さむさだけでなく、たべものも少ないのです。しろくまは、とおくまで歩いてえものをさがしたり、じっとまってアザラシをつかまえたりします。しろくまのほかにも、キツネやトナカイ、アザラシなど、それぞれのやり方でくらしている動物がいます。

北極はさむくてきびしいけれど、そこには生きるために工夫するどうぶつたちの知恵と力強さがあるのです。

(1) 文中の に入る言葉を次の中から選び番号をまるでかこみなさい。

- ① このように
- ② また
- ③ そして
- ④ ところが

(2) 北極の夏は「ひるだけの季節」がつづきますが、なぜふとんに入る時間をわすれてしまいそうだと書かれているのでしょうか。もっともよい理由を1つえらんで番号をまるでかこみましょう。

- ① 太陽がかくれて見えないから
- ② 1日中明るくて、夜のように見えないから
- ③ 北極の人は寝る時間がきまっていないから

(3) しろくまは、えものを見つけるのに長い時間がかかることもあります。しろくまが「じっとまってアザラシをつかまえる」やり方をしている理由として、もっとも正しいものをえらびましょう。

- ① 体が大きいので、すばやく動けないから
- ② たくさんえものがあるから、すぐに見つけるため
- ③ たべものが少ないので、チャンスにがさないため

